

編集兼発行人 朝日町役場内 大菅達二

印刷所 两越印刷

定価一部六円 送料四円

要望され午後四時二十分散会。 要望され午後四時二十分散会。

0

他計

9

月6

B

国体準硬式野球北信越大会

115

・路面損傷の修理を早急に行うこと ・補助対象外の細かい災害について も善処すること。 後六時○五分散会。 令全員協議会

(約20件)

年前九時役場出発庁用自動車にて 月山地先の小川の決壊、大家庄地 だ、年後平柳~南保間の橋台の決 後、午後平柳~南保間の橋台の決 後、午後平柳~南保間の橋台の決 後、午後平柳~南保間の橋台の決 では木流川の惨状、境では大 では大流川の惨状、境では大 が、地元民は何処も総出動で復日 に当つておらる、帰途に笹川道路 に当つておらる、帰途に笹川道路 が、地元民は何処も総出動で復日 に当つておらる、帰途に笹川道路 が、地元民は何処も総出動で復日 に当つておらる、帰途に笹川道路 が、地元民は何処も総出動で復日 に当つておらる、帰途に笹川道路 に当つておらる、帰途に笹川道路 とること。

下旬に持及場合を引き出しては例の八月二十六日 当町としては例の八月二十六日 当町としては例の八月二十六日 当町としては例の

100

160

100

1,725

16,250



		8	26	日 豪	雨災	害	復	旧	調	書	建	設	課
地区	河	川名路	腺 名	災	書 状	况		3費	-	負 担 応急費	摘		要
境	淹		Щ	護岸欠壊流失	100m			100	10	15	国補対象		
"	金	岡川	711	"	150			100	10	5	//		
11	大	谷	111	"	100			100	10		//		
笹川	七	重 谷	JII	.//	500		15	,000	1,500		"		
泊	田	町 ~ 海	岸線	道路欠壊	100			600	200	30	"		
笹川	城	14	線	"	20			600	200		"		
"		"		"	20			600	200		//		
全 町	HJ.		道	路面敷砂利流	失 10.00	0m		200	3.	200			
南 保	越	~ 平 †	卯 線	コンクリート	橋 橋台欠	壊		50		50			
"	_	条 寺	J11	護岸欠壊流失	100m			100	10	10	国補対象		
金 山	舟川	(高橋~金!	山線)	道路欠壊	16 m			10		10			
全	河		111	被害日の応急	資材等			50		50			
	そ	の (f)	也					100		100			7.
	合	<u> </u>	 				17	,610	2,140	470			
泊	一木	流]]]	護岸欠壊流失	700 m		1 14	,000	1,400	40	国補対象		
11		"		農地流失	1,5反			200	201				
山崎		用	水	水路流失	25m			800	80	20			
辻	Щ	合	Ш	護岸欠壊流失	30 m			150	15				
殿町		"		"	90 m			800	80	. (0			
笹川	七	重	谷	農地埋没	1 町			200	20				
招 保	木	流	711	11	40			100	10				

8月26日 災. 雨

地	区	PH DH	各	線		名	災	害	状	況	復旧費 千円		負担金 応急費	摘	11777	要
Щ	畸	川	合	線	林	道	欠壞108m9	ケ所	橋渠6m	5m2ケ所	750	173	32	国災53m	喬m 町	災55m橋5n
南	保	池	11	京 線	"		欠壞128m2	1ケ所	橋渠5	m1ケ所	746	. 181	37	国災70m	橋6m	町災58m
蛭	谷	相	1	义 線	"	2	欠壞 23m				206	20		国災23m	町災 -	-
1	,	虹至	谷	線	1		欠壊60m	路面流	充失120n	n	426	69		国災60m	町災12	0m
笹	JII	pg	倉:	谷線	"		欠壞127m	7ヶ所	路面涉	充失252 m	940	145	53	国災114m	町災2	265m
20	つ他	1		1	線		欠壊584m	46ヶ月	斤 橋渠	3m 1ケ所	1,325	398	26	町災		
合	at										4,393	986	148			

写.

真

上

木流し川の増水

中

四

倉谷林道

0

流失

路

面流失した四倉谷林道

收穫皆無で一町八反の損害は笹川、 の他十一線の林道決壊で合計三四五 で四十一町、六十五石の減收である 千五百八十石の減收の見込みである 收六百石、 万円余の損害で早急に復旧を集する 約九四万円余、山崎山合線林道、 害は約十万円の減收見込で有る。 百万円の損害である。 で八町歩二百十石の損害、 果樹園はナシ、ブドウ其の他の担 林道関係では笹川の四倉谷林道で 以上で合計二千五百二石約二千五 收穫皆無の埋没田は笹川、 農林関係では田の冠水二百町で減 南保などで四十七石、土砂 路面流失三七九米で損害 田畑の侵水千五十町で約 笹川、 南保池の原そ 流失田も 泊など 境など

小 111 に つ の 新

橋

一する岩崎

一谷間にかけられるのは木 画事業の一環として新橋二つを架橋ある不便を解消するため町の都市計 朝日町は小川で二分された地形に である。 の現地調査も終り着々と復旧に懸命 急工事を行い、尚関係官庁にも連絡箇所については地元の協力を得て応 いたし災害復旧工事の査定或は係官 (産業課)

雨

被

害

及ぼしたが土木関係ではその被害は 集中大雨は朝日町各地にその災害を であるが、復旧事業として町費約五 門は目下国庫補助対称として申請中 約三千四百万万円に達した約三千万 きし当りの応急工事は着工中である ○○万円を必要とするようである。 八月二十六日未明から降りだした

の予定。 玉 <

昭和三十四年九月一日から 郵便貯金增強 を 明 るく 運

ふやそうみんなの態便貯金 くらしと貯蓄に計画を 国を家庭を明るく築く郵便貯 十月三十一日まで

料として取扱うこととな

(財政課

明末竣功の予定である。 工費一七二万円は鹿熊組の施行で九 費約六百万円でその内本年度三五米 橋で延長一一〇米巾員二・七米総工 三枚橋~月山間にかけられるのは

施行で本年中に竣功の予定である。 橋台一基橋脚八基を黒東土建ドドの 永久橋で延長一二七米巾負五・五米 総工費約一、五〇〇万円で内本年度 両橋梁とも二ノ三年間で全部完成 (建設課)

公共施設の新設、 あります。 町村より資金運用部資産の融資申請 るいは郵便貯金増強実績の優良な出 役割を呆しております。 中小商工業農林漁業等の発展、 たその総額は九千億に近く、 生活の安定に役立つております。 の力法としてひろく利用され、 図るためには、 日本経済の発展と国民生活 をなされる際には、 郵便貯金増強に協力された市 国を家庭を明るく築くために大きな をはじめ各種資源の開発、 郵便貯金は、便利、 副山書を添え大蔵省、 上下水道など地力自治体の 貯蓄の実践か必要で 拡充等に融資され 地元郵便局長の 自治庁におい 住宅の建設、

輸出の振

国の財

知民

電力

昭和三十四年度

各校秋季運動 会

九月二七日 仝. 仝 仝 十月一日 全 仝. 二日 日 五. 日 四日 三日 五ヶ圧小学校 大家庄小学校 泊小学校 泊高等学 南保小学校 境小学校 泊中学校 境中学校 小川中学校 **笹川小学校** 崎小学校

6

(3)

せて下さい。

金

な

E

された方は、期限内にもれなく返還 る場合には、十二月三十一日まで) できることになっているから、 に財務局または財務部を通じて大蔵 しないため所有者が返還の請求をす された方は、昭和三十四年十月三十 大臣あてに返還の請求をすることが 後貴金属などを連合国占領軍に接收 六月一日から施行されたので、 一日まで(被接收者が返還の請求を 接收金属等の処理に関する法律が 合国占領軍に接收された方へ 終戦

千四 回国体準硬 大 大野 球

石油新潟、 県代表、ヤシカ、新潟県代表、日本 トの六チームは九月六、七日秋晴れ の朝日町小丸山グランドにおいて、 富山県代表、入善クラブ、 石川県代表、小松事業、 福井県代表、 敦賀セメン 呉羽自 長野

くわしいことは富山財務部 を へ間 にみちた熱戦をくりひろげた。 各県代表の名誉にかけて技術と情熱 小松 実 業000003000 日本石油新000000 入善クラブ000000020 敦賀セメン0400000X4 敦賀セメン300000012 小 羽自動車000 準決勝 準決勝 松実業00010300X4 第二試合 2 カ00320200X7 第一試合 第二試合 0000

優勝戦

七

H

商 日町商工連合会

[民金融公庫貸出しについて従

り仮装コンクールが盛大であつた のでこれから毎年八月一日に盆踊 新らたに先般八月一日の民謡盆踊 ら精々御利用下さい。 で百万円まで引上げられましたか 利用度の一般金融が良くなつたの 来ましたのを経済の安定と資金の て五ヶ年以内五拾万円まで利用出 ん祭り太子祭り等がありましたが 年中行事について、 中小企業者の運伝設備資金とし 観桜会ぎお 問題の見つけ方の進歩として賞揚す 植物の作品が四、五点あつたのは、 の自然観察作品として水生昆虫水生 の進歩と思われる。休み期間中だけ べきものがあつた。

大会を開催いたしたいと思つて 子体操会、

〔親子体操と親ヱ 子日

機会にする事をはかつたわけです。かい愛情をかけること、反省のよい 部落単位で四月来公民館活動でとり 帳面に記録することから、父兄の暖 にすること、日記は親子とも一册の あげた成果をだして一日のスタート 導の中に二本の柱を立てました。親 南保小学校では、夏休みの生活指 親子日記です。体操会は (記)

事業主の加入二十五名と被保険者、失業保険事務組合について現在

により失業保険事務組合の発展

七十四名あり、

今後皆さんの協

昭和

24

国会あたりで認められた既は社会 めましよう。 の開催などお客さんへのPRに務 コンクェルサービスコンクール等 化運動週間でありますので、照明 がもてるかと存じます。 国家の補助機関として相当の期待 保険及最低賃金事務等の取扱は、 十月は全国商店サービス月間強

等。

まずに続けた。朝の体操が本当に体

によいことがわかつてびつくりした

め変替制にして出た、

お盆なども休

()

体操の時間が仕事とぶつかるた

0

0

大家庄校の夏 休作品展

績をあげているのでこの方面の優れ 数年来科学教育にとりくみ大きい実 品展をひらき、各教科の児童作品が た作品が多く科学主任長津先生の意 室に溢れる程出品された。同校は 大家圧小学校ではこの間夏休み作

0

0

0 6

3

理にまで入りこんでいるのは本年度 に標本をつくることからその生態生 はり重味を見せている。 して東京タワー動植物の標本類がやなどが光つている。科学的なものと の創作意欲をみなぎらせた理工作品 究過程があらわれている作品、児童 本校では年間理科カリキュラムの研 見をきくと どこの学校も甲乙ないと思うが、 標本類は単 ◇その他

犯

増える!! 天高く どろぼら肥える季節? 昭三四、 「警察ですか、 黑東区域防犯組合連合会 農繁期のどろぼら 九 今金庫が盗られ 五 入善警祭界

現場は横小路に面した出入口に 作に置かれた手提金庫で家族は皆表 然と立たずむ主人の姿に引きかえて の店で働いている隙のことであつた あまりにも単純な現場がダ日に て妙な対照を画えていた。 現場にかけつけた警察官の眼には茫 入善署管内は新潟に通ずる国道を 朝日は渡り鳥の銀座街 映え 無維 ŧ 場 横 そ出 その他の 勝 勝 そ 表 出入 0 出 Ŧ. Ŧ. 0) 計 他 入 のロ 所 窓 11 昭和 24 14 5 1 1 34.6

5

2

26 57

◎侵入口しらべ

おきづきですかりどろほうり から入つてきます。 がは表玄

くれしいことに各場総が部へ開合せて下さい。	つい、これで表合を思いけます。	は今回受験し、卒業後入隊でき来春卒業見込の高等学校在校生	◇その他	昭和十年一月二日から昭和十七	◇年 令	ì	等}; 陸};	て、うれ、く思って、ます。的な夏休みを送ったという資料が出
時	あ	凮	凮	ļ	ŗ	真	わか	-
		ŧ	す	いの		夜	からない	計
間	25	之	ぎ	П	る	中	12	
昭和							-277	
24.6	2	1	5	5	6	4	2	24
昭和	+					-	** 3	
33	1	4 :	16	3	14	28	1	67

で統計が教える 防犯対策 きます。 みや 空巣狙い が、ぐつと増えて いますが、渡り鳥の時期は と浮浪者が避寒の為移動するのです 私達はこれを〃渡り鳥〃と呼んで 少春は南から秋は北から*り* 防犯は戸締り、 属すぎ〃をえらび 又戸締り 忍び込

協力をして頂き、はじめての計画と 上協力のよい家庭の児童がより計画 しては大へんよい出発だつた。その 五割に近い父兄は体みの半分に及ふ 親子日配は一割強の欠兄は毎日 ッどろぼらは夜、 ⑥犯行時間しらべ

わか		好小。
わからない	計	
-	1 -	
2	24	
•		
1	67	
(1)		

西

方	戸締	カーナか	素手	ちょい	錠	差	そ	
法	戸締りなし	やけたれ	素手で外す	ちようつがす	を外す	差込みを外す	の他	āt
四和 34.6	8	11		1	1	2	1	24
昭和 33	26	8	5	2	2	1	23	67

式が行われた、式後懇談会にうつり 七日富山電気ビルにおいてその表彰 表彰者より意見の発表があつた。

◎ 戸締りしらべ

範勤労青少年とし

7

このほど県青年会議所より模範勤労 朝日町大家庄不動堂の四杉彰君は 県の表彰 年として表彰されたが去る九月 四杉 彰

民舘において開催された。 議 朝 八月二十二日午後一時半から泊公 日 町 青 少 口 協 議 協

3.

小坂

满

集めてい

また青年団活動、

は養鶏にと頑張り抜いてきた。復、祖母と共に一町三反の田畑に或 して渡満したが終戦となり父は昭和八年両親が幼い当人と妹を祖母に託四杉君は昭和十一年生れで昭和十 導的な役割をはたし、 れたが、当人はその最大の痛手を克 いう戦争最大の悲劇が当人におとず 二十一朝鮮で死亡、母は行方不明と 四日クラ 住民の 信望の を指 討議の結果協議会は左の五部に分れ 役員から熱心な意見発表があつた。 条例についての説明があり終つて各 強力な協力と推進を要望された。 て 補導に推進ずることになつ 事務局長(川上教育長)より設置 H @部長 体活動部

○副部長

俊 小谷外直 東

刊

体育レクリエーション部 菅述二 **⑥鹿熊安正** 村口隆造 日崎久安 上田安吉 米田吉二 選用其之 @坂東久松 〇池原啓三 竹内益太郎 水野すな 〇大

2.

水 岡 H

自由との契 ザイルの三人 本の幽 豆 約

朝日 2 町立中央図書館

4. 松原外松 魚 木村俊夫 山津 一岡源 寅吉 大久保勝 嗣 谷伊

附 水島族

の主旨について説明があり、

役員の

会長である本村町長から協議会設置

水下留吉 野 加藤 水島 藤元清 以 〇伊 隆 恭〇

5.

漱

野

田

長寿

算年85才以上

関脇

下沢

山泊境

大橫張橫

関綱出綱

岩城幸次郎

とき

島

6

I

五

庄

前

頭

11

111

0

泊泊泊

島

泊泊泊

南茂

志け

五ケ圧

水野辰次郎

宮野山境南

さと

南

水島 長崎

条松

水島

千代

八五 八六 八六

临 崻

> 11 // " 前

大菅

つよ

八五 八五. 八五 八五

崎崎中崎

ウ

山崎市

大家庄

頭

8

八八九九九

ゆき

八九

とき

八八

Ŧī.

ケ庄

西岡 梅沢

定吉 いて ステ

八八八

" " 11 11

宮泊

東

藤田 車田

はり ふじ ちよ

大家庄

"

九一

九〇 11.0

新田 水島

りの のせ

Ш

七沢 竹谷

本

ちえ 清松

山宮宮南

"

八五 八五

四南南山宮

11 // 11

ふよ

八八八 八八八 八八八

"

ちえ

八七 八七 八七 八七 八七 八七 八七

南

上不 江淵

いと

八五 八五

泊

ふじ かて ちい

八五.

崎 保 保

 $\mathcal{I}_{\mathbf{L}}$

泊

八七

南境

境境

11

たけ きん

道用松次郎 大久保やよ

> 八九 カ〇

南

八九

Ŧi.

ケ庄

"

取 締

日町議会議長

米田 村

当

協議会福祉 民生課長

> 野 水

田

隆

俊 登

島

車

としより

朝日町長

本

本

松

前

頭

大久保平

右エ門

八九大家庄

前頭 "

清水

七

大家庄

M

川瀬栄次郎

中

'nij

"

崻

口

こと

" 前

浅吉

水島由太郎

八七 八七

"

" "

"

昭和34年

関大張大 横 脇関出関 綱

坂東 加爾 勝田 藤田 吉江石次郎 施沢 きよ のぶ しの むさ いよ ちゑ 3 九二 八九 九〇 カ〇 九一 五ヶ庄 大家圧 五ケ庄 " 大家庄 笹 泊 泊

> 野末 勝原 勝原 寺田 平沢三之助 よき かの きよ なみ れい 0.5 すじ 八七 八八 八八 八八 八九 八九 八八八 七 泊泊泊南 南泊 泊泊

中島栄次郎

石黒 数家 よし よし ちゑ みよ りよ 八六 八七 八七 八七 八七 六 五 M 泊 泊境 野

竹内 内川 南保

鹿熊 本田 扇谷 谷口八兵衛 **济太郎** ちよ 彦次 りせ つよ よし 八五 八五 八五 八五 八五 八五 八五 笹泊泊山 宮 五闸

八六 八六 山泊野 庄保川 " "

頭 仙名 浜川 岡島きよ枝 前川 建 梅次郎 りて 久松 きょ 八五 八五 八五 八五 大家庄 五ヶ庄 Ш 五 ケ圧

和三十四年九月十五日 0 日 勧進元

朝 日 町 民

生 課